

会 議 録

会議名 (協議会等名)		第4回相模原市新たな火葬場を考える会				
事務局 (市担当課)		区政支援課 電話042 - 769 - 9814(直通)				
開催日時		平成28年7月7日(木) 19時00分～20時30分				
開催場所		津久井中央公民館 3階 研修室				
出席者	会 員	14人(別紙のとおり)				
	その他					
	事務局(市)	4人(区政支援課長、同担当課長、他2人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	7人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議事 議事1 要綱の改正について 議事2 新たな火葬場整備の候補地選定について (1)これまでの検討経過 (2)新たな候補地設定の可能性 (3)二次検討エリアの調査状況 (4)今後の取組み 5 その他 6 閉会				

協 議 経 過

主な内容は次のとおり(は座長の発言、 は会員の発言、 は事務局(市)の発言)

1 要綱の改正について

案とおり改正する。

○考える会の会員に欠員を生じた場合は、どうするのか。

事務局より、各構成団体に考える会への推薦依頼を行うこととさせていただきたい。

2 新たな火葬場整備の候補地選定について

(1)これまでの検討経過について

○平成28年3月3日に発行されたフリーペーパーの記事によると、平成28年3月末に第4回の会議を開催し、平成28年度中には、1箇所を候補地案として決定できるよう進めていくとの内容であったが、そのような意向であれば、考える会で話をした上で、取材に対応するべきではないか。

第3回の会議内容について、取材に対応したものと認識している。

○「火葬場」の呼称について、厚木市では、かつての「焼き場」を連想させるため、「かそうじょう」と呼ぶこととしていると聞いているが、相模原市ではどのように呼ぶ方針なのか。相模原市では「かそうば」という呼称とさせていただきたい。ただし、今後、地域から「かそうば」という呼称が相応しくないという声が高まる場合は、別の呼称について検討していくこととさせていただきたい。

○「旧津久井4町地区代表意見交換会」において、津久井地区内に候補地検討エリアを設定することとした理由は、市有地、財産区所有地等を有効活用できるのではという意見を踏まえたものである。仮に候補地検討エリア外に候補地を設定する場合は、城山地区、相模湖地区、藤野地区に説明する必要があると思われる。

第3回の会議において説明させていただいたとおり、「旧津久井4町地区代表意見交換会」での意見も踏まえた上で、候補地検討エリアは設定されたものである。

(2)新たな候補地設定の可能性について

○第3回の会議では、「相模原インターチェンジ新拠点まちづくり」等津久井地区内で計画されている他事業を注視しつつも、まずは、立地可能性の観点から、候補地選定の検討を進めていくとの説明であったが、新たな候補地設定の可能性について検証を行ったのはなぜか。

第3回の会議の中で周辺他事業の動向を踏まえ、新たな候補地設定の可能性も検証したほうが良いとの意見もあったことから、最終的な候補地決定に当たっては、当該可能性についての検証が必要と考えたためである。

○第3回の会議において、絞り込まれた3エリアに加え、新たな候補地設定の可能性について、時間をかけて検証し、難しいという結論を説明した理由を伺いたい。

平成28年3月中に第4回目の会議を開催すると説明していたにも関わらず、7月まで開催が延びた理由は、新たな候補地設定の可能性に係る検証を行っていたためであり、検証内容については、考える会において丁寧な説明が必要と考えたためである。

○リニア非常口からの発生土が岩であった場合、JR東海は、岩の状態のまま埋立て事業者に渡すのか。

リニア非常口からの発生土が、岩なのか土なのかは、現時点では、不明である。仮に岩ではなく、埋め立てに適した土であったとしても、樹木の伐採、埋め立て工事、土の安定期間、設計、道路整備、敷地造成、建設工事等を考えると工期は長期間となることが想定される。

○新たな火葬場整備事業と津久井広域道路延伸整備事業を一体的に進める新たな候補地の設定は、今後の地域活性化に寄与する可能性が高いと思われる。道路整備や敷地造成の方法を工夫することで、目途とする平成36年度の供用開始に間に合うのではないか。

○新たな候補地の設定はリニア非常口からの発生土搬出の際の車両軽減も図られると思われる。近年の土木工事の技術は進歩していると思うので、難しいと結論づけるのではなく、目途とする平成36年度の供用開始に間に合わせるよう、行政が関係機関と調整するとともに、庁内でさらに検討を行って欲しい。

庁内連絡会議での議論では、かなりの難工事になることが想定されるとしている。新たな候補地の設定は難しいと思われる。

考える会において、候補地検討エリア周辺の他事業も含めて、意見をすれば、「新たな火葬場を考える会」ではなく、「道路を考える会」や「まちづくりを考える会」となってしまうことを危惧する。

候補地検討エリア周辺の他事業と新たな火葬場整備事業を一体的に進めていくことは、目途とする平成36年度の供用開始に間に合わせる事が難しいため、今後の検討はこれまでの3エリアで行っていくこととする。

(3) 二次検討エリアの調査状況について

○概算用地費については、会員からの質問に対応したものであるもので、大まかな概算であっても示されたことは今後の検討に資するものと思われる。

二次検討エリア内の候補地については、地形的に大差はないが、県道鳥屋川尻からの距離が、候補地よりの方が30メートル程短いことから候補地で検討を進め、二次検討エリア内の候補地については、既に造成されており、費用面や工事難易度が低い候補地で検討を進めたい。

概算用地費について、雑種地は、近傍の住宅地の固定資産税の基準単価を参考に試算し、山林部は1,000円/円で試算しているため、実際の用地購入時は、大きく変動する可能性が高い。

(4)今後の取組みについて

○現時点では候補地が1箇所に決まっていないため、反対運動が起こっていないと思われるが、火葬場という特性を踏まえると、地域にとっての利点や利用者にとっての利便性などを説明すると良いと思われる。

○地域からの反対運動が起こらない方策として、各候補地について、工事費用面、住居環境への影響等の観点から比較検討する必要があると思われる。

次回の会議において、事業費の他、交通利便性等の項目を挙げた比較検討表により優先順位案の説明をさせていただいた上で、周辺住民への説明を行い、秋頃を目途に優先順位を確定し、考える会において説明を行うことを考えている。

実際に各候補地を見ないで意見をすることは困難であるため、考える会として現地見学を行ってみてはどうか。

実施する方向で検討する。後日会員にお知らせする。

以 上

相模原市新たな火葬場を考える会会員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	関戸 佐助	津久井地区まちづくり会議		出席
2	高井 登志子	津久井地区まちづくり会議		欠席
3	小野沢 良雄	津久井地区まちづくり会議		出席
4	内田 幸一	津久井地区まちづくり会議		出席
5	小河原 祐二	津久井地区まちづくり会議		出席
6	落合 勝司	津久井地区自治会連合会		出席
7	高崎 享	津久井地区自治会連合会		出席
8	廣瀬 市郎	津久井地区自治会連合会		出席
9	八木 猛	津久井地区自治会連合会		出席
10	榎田 達雄	津久井地区自治会連合会		出席
11	成瀬 博	津久井地区自治会連合会		出席
12	毘谷 泰之	津久井地区自治会連合会		欠席
13	下園 克秀	津久井地区自治会連合会		出席
14	門倉 豊	津久井地区自治会連合会		出席
15	戸村 芳文	津久井地区自治会連合会		出席
16	樋口 一美	市民局次長		出席